

都心に建つオアシス施設の提案

Proposal for an oasis facility to be built in the heart of the city

佐藤信治¹, ○鈴木雄士²,
Shinji Sato¹, *Yuto Suzuki²

In Japan, the two factors of children's physical health and mental well-being are intricately interrelated, influenced by a complex web of factors. Physical health is influenced by genetics, nutrition, exercise, and medical care, and it receives high international acclaim. On the other hand, when it comes to mental well-being, cultural, societal values, educational systems, and family environments play significant roles, and it is recognized as a serious social issue in Japan.

Furthermore, Japan is facing a pressing problem of a rapid decline in its agricultural lands. The decrease in arable land is attributed to various factors, including urbanization, the aging farming population, and the conversion of agricultural land for other purposes. While urban areas continue to attract a growing population, rural regions are experiencing depopulation and an outflow of the younger generation, weakening the agricultural sector. This phenomenon significantly impacts Japan's food self-sufficiency rate and increases the risk to the nation's food security. This proposal aims to address both the improvement of children's health and happiness, as well as the issue of diminishing arable land. It focuses on promoting sustainable agriculture and fostering collaboration between urban and rural areas to enhance the overall welfare of society.

1. はじめに

日本において、子供たちの身体的健康と精神的幸福度という2つの要素は、複雑な相互関係を持ちつつ、その関係においては多くの要因が絡み合っている。身体的健康は、遺伝、栄養、運動、医療ケアが影響し、国際的に高い評価を受けている。一方で、精神的幸福度に関しては、文化、社会的価値観、教育制度、家庭環境などが重要な役割を果たしており、日本の深刻な社会問題として認識されている。さらに、日本の農業における田畑の減少という問題が急速に進行している。田畑の減少は、都市化の進行や農業の高齢化、農地の転用など、多くの要因に起因している。都市への人口集中が進む一方で、農村地域では人口減少や若年層の流出が起これ、農業を支える力が弱まっている。また、この現象は日本の食料自給率に大きな影響を及ぼし、国の食品安全保障に対するリスクを高めている。

本提案では、子供たちの健康と幸福度向上と同様に、田畑の減少に焦点を当て、持続可能な農業の促進や都市と農村の連携を通じて、社会全体の福祉を向上させる提案を目指す。

2. 計画背景

2.1 日本の矛盾した状況

我が国において、子供たちの身体的健康に関する評価は国際的に高い評価を受けており、長寿で健康的な生活を送ることが出来る環境に恵まれている。その背後

には、良好な医療制度、バランスの取れた食事習慣、適切な運動習慣などが存在している。しかしこの一方で、精神的幸福度に関しては世界でワースト2位という位置にあり、この点での改善が明らかになっている。この矛盾は、社会の進化や文化的要因とも深く結びついている。子供たちの精神的な健康と幸福度を向上させるために、個別のニーズに応じた支援体制やプログラムの強化、家庭と学校との連携強化など、総合的なアプローチを行う。



Figure 1. Life Satisfaction of Japanese Children [1]

2.2 オモテとウラの性質

すべての事象には、表面的な側面「オモテ」と陰に潜む側面「ウラ」が存在する。このオモテとウラが相互に関係し合うことで物事は安定を保っている。しかし、身体的健康を「オモテ」とし、精神的幸福度を「ウラ」としてとらえた時これらは、現状良い関係を構築しているとは言いえない状態である。「ウラ」である

1: 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.
2: 日大理工・院(前)・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

部分を向上させるために、オモテとウラの関係性を再び見直す必要があるのではないかと私は考える。

2.3 姿を消しつつある田畑

田畑は、単に作物を生産する場所としてだけでなく、生態系にも重要な役割を果たし、地下水供給や気温の調節など、多くの利点を提供する。しかし、近年、田畑の減少が進行しており、これは都市化の拡大や若年層の農業への参加の低下など、様々な要因によるものである。

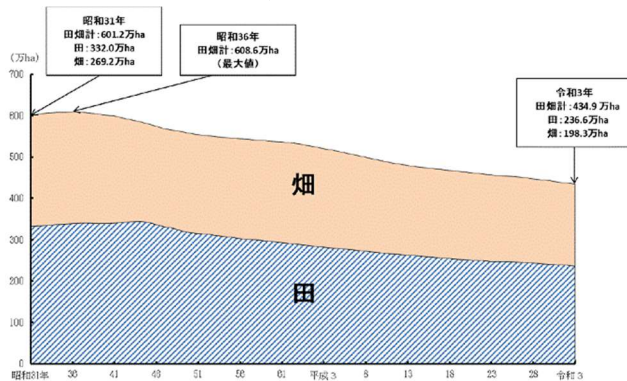


Figure 2. Changes in arable land area [2]

3. 基本方針

上記のような背景から、子供たちが農業を通じて精神的幸福度という「ウラ」の環境に目を向けさせるための施設を計画する。子供たちは自然と触れ合い、協力し、成長する機会を得ることが出来る。また、コミュニティの一員として役割を担うことで、社会的な絆を育む。これにより、身体的な健康だけでなく、精神的な幸福度も向上する環境を提供することを目指す。

3.1 計画敷地

計画敷地は、東京都千代田区飯田橋を通る首都高速5号池袋線の高架下及び高架上。飯田橋はかつて、武家屋敷や町屋が広がる地域であった。しかし、明治維新に伴う武家屋敷の廃止後、この地域は新たな用途に転換された。学び舎や文化施設などが次第に広がり、現在では教育機関が密集するエリアとなっている。そのため、この場所は周辺の教育機関に通う子供たちや、仕事終わりの大人の集客率が高いと考えられ、本計画に適した場所であると考えた。

3.2 高架の持つ反転性

高架道路によって、高架上（オモテ）と高架下（ウラ）という空間が形成されている。この空間に対して建築を挿入することで互いを認識し合い、影響し合う表裏一体の関係性が生まれる。

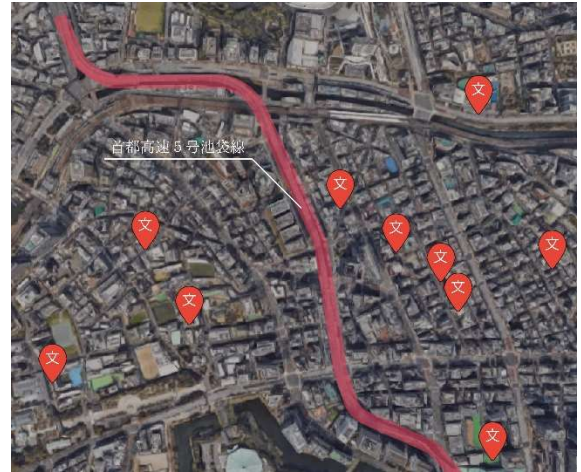


Figure 3. Planned area[3]

4. 建築計画

4.1 導入施設

- 1) 放課後の子供クラブ
- 2) 農業施設
- 3) レストラン
- 4) 商業施設

4.3 放課後の子供クラブ

周辺の教育機関に通う子供たちが放課後に集う学童のような施設。小学生から大学生まで世代を問わず交流し、新たな学びや経験を共有できる場として機能する。

4.4 農業施設

市民農園の機能を持たせ地域住民や訪れた子供などが農業に触れ、親しむ場を提供する。また、ここで収穫された野菜などをこの施設で消費することで一つの循環を作り出す。

4.5 レストラン

ここで収穫された野菜などをこの施設で提供することで、循環の一環を形成する。

4.6 商業施設

子供たちだけでなく、周辺の人々が集まる場所を提供する。これにより、地域社会性が活性化し、コミュニティのつながりが強化される。

5. 参考文献

- [1] ユニセフ報告書「レポートカード16」先進国の子供の幸福度をランキング 日本の子供に関する結果 <https://www.unicef.or.jp/report/20200902.html>
- [2] 農林水産省 令和3年耕地面積（7月15日現在） https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sakumotu/menseki/r3/kouti/index.html
- [3] Google, Google マップ <https://www.google.co.jp/maps/place>